

介護福祉学科

ディプロマ・ポリシー <DP> (卒業認定・学位授与の方針)

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

介護福祉学科では、教育目標を受ける形で、以下の「ディプロマ・ポリシー」を定めています。

- (1) 温かい心と豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。
- (2) 介護を必要とする人の自立支援と、地域におけるその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。
- (3) 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。
- (4) 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。
- (5) 多職種や地域住民との連携・協働の必要性を理解できている。